

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<平成28年度> （北区 まちづくり推進課）

事業名	「レディ・サムライ直虎シリーズ」絵物語制作			
実施団体名	レディ・サムライ直虎 研究会			
事業の目的	NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送に先立ち、井伊直虎と郷土との関わりを分かり易い絵物語（マンガ）形式で制作・配布することで、住民が地域の魅力を再発見するとともに、地域の魅力を広く発信するためのツールとする。			
事業の成果（内容）	<p>1 内容 絵物語「女城主 井伊直虎」の制作 「女城主 井伊直虎」シリーズ（伊平・川名・寺野物語）を5,000部作成し、区内の小中学校や公共施設等へ無料配布するとともに、区内の書店や観光拠点で販売した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校 1,200部 ・公共施設等 2,800部 ・有料販売 1,000部 <p>2 成果 「女城主 井伊直虎」シリーズを通じ、幅広い世代の人達が郷土の再発見や各地域間のつながりを知り、地域の理解度が深まった。</p>			
総事業費（円）	1,677,648円	補助金額（円）	817,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>冊子の仕立てを絵物語（マンガ）とし、大河ドラマの放映前に発行したことで、年代を問わず多くの人達が、北区が井伊直虎ゆかりの地であることに対する事前理解を深めることができた。また、伊平・川名・寺野地域を題材としたことで、龍潭寺や大河ドラマ館だけではなく、周辺地域にも観光客が足を運ぶ契機になったと思われる。</p> <p>今後は、今回制作した冊子を活用した自主的な取り組みにより、更なる地域活性化に期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<平成28年度> （北区 区振興課）

事業名	若い力を地域の防災力に育成			
実施団体名	浜松市北区災害ボランティアコーディネーター連絡会			
事業の目的	防災訓練や防災教育に参加する機会が少ない高校生に対し、「防災力」を身に付けるための機会を提供し、今後の地域や事業所の防災力を向上する。			
事業の成果（内容）	<p>内容及び成果</p> <p>1 説明会・検討会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災理解を深めるための勉強会を実施した。 ・社会福祉協議会や防災士に講師参加を調整した。 <p>2 防災講座</p> <p>各学年、クラス毎に延べ7回実施した。 （1年生×3回、2年生×2回、3年生×2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生：地球の成り立ち・仕組み、自分の身の守り方、クロスロードゲーム ・2年生：地球の成り立ち・仕組み、自分の身の守り方 ・3年生：地球の成り立ち・仕組み、自分の身の守り方、外部講師による講義 <p>3 防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の行う防災訓練に参加し、講評した。 ・全校生徒を対象に延べ3回 			
総事業費（円）	260,340 円	補助金額（円）	129,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>地域の防災力強化のために、高校生を対象としたことは新たな発想として評価でき、高校生の実体験を通じた防災力の向上のみならず、防災意識の向上や災害時の地域内の人材確保にもつながったものと思われる。</p> <p>ただし、講座や訓練が当初計画どおりに進行できなかった部分もあることから、本事業を契機とし、学校や関係団体との更なる連携強化を図った上での事業の継続に期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<平成28年度> （北区 区振興課）

事業名	気づこう、備えよう、繋げよう地域に防災力を			
実施団体名	浜松市北区災害ボランティアコーディネーター連絡会			
事業の目的	防災講座等に参加して実践力を身に付けた人たちが、地域に防災意識や能力を定着させるための方策を探る。			
事業の成果（内容）	<p>活動内容及び成果</p> <p>1 ペットの健康としつけ 参加 72 名 災害時に必要なペットのしつけに関する講習会を開催した。</p> <p>2 子ども宿泊防災 参加者 18 名 小学 3～6 年生を対象に、集団生活から防災を学ぶための講習会を開催した。</p> <p>3 HUG で地域の防災を考える 参加者 38 名 女性を対象に、話し合いながらゲーム感覚で避難所運営を学ぶ「HUG」講習会を開催した。</p> <p>4 パパママ防災講座 参加者 3 2 名 子育て中の親を対象に、災害から子供を守るための技術を学ぶ講座を開催した。</p>			
総事業費（円）	414,000 円	補助金額（円）	205,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>講座の内容や対象を絞り込み、避難所運営に係る知識の向上や防災意識の醸成を図ったことは、災害ボランティアに携わる市民団体ならではの発想からの取り組みとして評価でき、災害時に活躍できる人材の広がりにも寄与したものと思われる。</p> <p>ただし、事業経費の配分が当初計画どおりに進行できなかった部分もあることから、より確実な事業の見通しを精査した上での事業の継続に期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<平成28年度> （北区 区振興課）

事業名	区民参加型「命を守る」防災ワークショップ			
実施団体名	常葉大学浜松キャンパス社会貢献・ボランティアセンター（HUVOC）			
事業の目的	大学の持つ資源を有効に活用し、大規模災害時において不可欠な、平常時からの地域の連携体制を強化する。			
事業の成果（内容）	<p>活動内容及び成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事前勉強会 参加延べ 65 名 学生の理解を深めるための勉強会を 4 回開催した。 2 まち歩き・ハザードマップづくり 参加 198 名 地元自治会との連携により、現地確認で得た情報を基としたハザードマップを作成した。 3 防災円卓会議 参加 150 名 作成したハザードマップを基に、地域の防災課題の抽出を行った。 4 災害図上訓練（DIG） 参加 153 名 地域の関係者と連携し、災害図上訓練を通じた意見交換を行った。 5 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 参加者 137 名 地域団体と連携し、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。 			
総事業費（円）	310,000 円	補助金額（円）	124,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
	4) 費用対効果	高い	普通	低い
意見等				
<p>本事業の取り組みにより大学・大学生と地域の関係が強化されたことは、防災面のみならず、今後の平常時の地域活動にも新たな波及が期待できる。また、継続2年目の事業として、報償費・役務費等を削減する等、自主事業化に向けた工夫も見られる。</p> <p>今後は、今回整備したハザードマップの対象地域以外にも事業範囲を広げる等、連携地域の更なる拡大を期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<平成28年度> （北区 引佐協働センター）

事業名	直虎を契機にした「おもてなしの心」醸成事業			
実施団体名	「井の国直虎まつり」実行委員会			
事業の目的	1 大河ドラマにより観光客の増加が予想される地域において、住民の連帯意識の向上と、地域として観光客を受け入れるための体制を整える。 2 北区の全域からの参加を呼びかけ、北区の更なる一体化の契機とする。			
事業の成果（内容）	1 内 容 ・「井の国 直虎まつり」の開催 開催日：平成28年10月29日、開催場所：神宮寺川緑地及びその周辺 ・参加者等 来場者約5,000人、出店参加32団体 2 成 果 告知期間が短いという課題があったが、他地区からの来場者も多く見られた。来場者を地域として迎え入れたことは、今後予想される観光客の増加に対応するための地域としての受入体制の構築や、地域住民の意識の醸成のための貴重な機会となった。 また、井伊谷地区の住民が共同実施し、実行委員のほか子供会や中学生等、これまで関わりの薄かった世代間の新たな連携が構築でき、地域の一体感が深まった。			
総事業費（円）	2,921,042 円	補助金額（円）	1,400,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
	4) 費用対効果	高い	普通	低い
意見等				
<p>今後急増が見込まれる観光客に対する受入体制を、地域自らの手で構築しようとする本事業の取り組みにより、観光客を住民が「おもてなしの心」で迎え入れようとする機運の醸成に寄与したことに加え、これまで比較的希薄であった地域の子育て世代等の若年層の、地域活動への参加の契機にもなったと思われる。また、関係した団体が、観光客向けに手作りの案内板を設置したり、まち歩きチラシを制作したりする等、個別の動きにも波及が見られた。</p> <p>今後も多くの観光客の来訪が予想されることから、今回得たノウハウを活かし、地域の更なる一体感の醸成と地域資源の活用を期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<平成28年度> （北区 社会福祉課）

事業名	大河ドラマを契機とした障がい者の自立支援事業			
実施団体名	ストレイトタイガープロジェクト			
事業の目的	<p>大河ドラマ「女城主 井伊直虎」の放送を契機に、障がい者福祉施設等が連携し地元の特産品を活用した商品開発や販売強化を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉に携わる人材確保 ・障がい者の給付費の向上 ・浜松市の魅力を発信 			
事業の成果（内容）	<p>1 内容 障がい者の事業所が主となり、障がい者による地元の特産品を使用した製品開発と販売する。 龍潭寺の敷地内や地域イベント会場を主な販売所とし、販売を通じた障がい者や福祉啓発、浜松市の魅力発信を行った。</p> <p>2 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動が地域のメディア（新聞、ケーブルテレビ、雑誌・ネット書籍など）にも取り上げられ、障がい者や福祉の理解につながった。 ・障がい者が販売に携わることで、障がい者が喜びを感じ、その喜びが自信となり、製品を作る作業意欲につながった。 ・プロジェクトの売り上げが伸び、参加してくれている障がい者へ特別工賃を支払う事ができた。 ・商品に興味を示してくれた地元企業との、展示や商品開発のきっかけとなった。 ・地域イベントへの出店を通じた、地域の学校との新たな交流につながった。 			
総事業費（円）	244,860 円	補助金額（円）	122,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>本事業の実施により、事業に携わる障がい者の待遇改善が図られたほか、地域の企業や学校との新たな連携の契機となり得たものと思われる。また、作業に携わった障がい者の、自信や作業意欲の向上にも繋がっている。</p> <p>今後は、本事業により整備した商品 PR のためのツールやノウハウ、連携先を活用するなかで、自主事業としての新たな事業展開を期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<平成28年度> （北区 まちづくり推進課）

事業名	井伊家ゆかりの地 直虎検定			
実施団体名	姫街道連絡協議会 姫街道未来塾			
事業の目的	1 井伊家と井伊直虎に関する地域への周遊を促進する。 2 北区が井伊家ゆかりの拠点であることを広く告知する。			
事業の成果(内容)	1 内容 (1) 直虎検定(80問、番外編20問)を実施した。 ・検定用紙 8000枚を配布(当初5000枚印刷したが、反響が大きく3000枚を追加増刷した。) ・応募期間：平成28年10月10日～平成29年2月10日 (2) 応募者に得点に応じた認定書と記念品を贈呈した。 ・応募人数：113人(12歳～91歳、東京・大阪等の遠方から応募もあり) 2 成果 ・直虎検定を通して多くの人が北区に足を運んだことにより、地域の活性化につながった。 ・幅広い層の参加者に興味や関心をもってもらい、当地の魅力を広く発信する機会になった。			
総事業費(円)	963,821円	補助金額(円)	463,000円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
	4) 費用対効果	高い	普通	低い
意見等				
参加者の達成感や参加意欲を高めるような仕立てとしたことや、検定に対する反響の高さから、多くの人が関心をもち、井伊家ゆかりの地である北区に足を運んでいただいたことが伺え、本事業が地域活性化の一助になったものと思われる。 今後は、応募人数を増やすような仕立てとする中で、継続して足を運んでもらうための自主的な取り組みとしての継続を期待する。				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<平成28年度> （北区 区振興課）

事業名	Web ネットワーク構築事業			
実施団体名	浜松北地域まちづくり協議会			
事業の目的	北区の市民団体がパスワードを共有して自由にアクセスできる「Web 上の団体ひろば」を構築し、団体間の連携を図る。			
事業の成果（内容）	<p>1 内 容</p> <p>(1) 区内の市民団体による、「Web 上の団体ひろば」の仕組みを協議するための連絡調整会議を開催した。</p> <p>(2) ホームページ入力・操作講習会を開催した。（延べ2回）</p> <p>(3) 平成28年11月、10団体の参加によりHPを公開した。</p> <p>2 成 果</p> <p>(1) 浜松北地域まちづくり協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP公開後、ブログアクセス数の増加や、HPを通じて事業に関する問い合わせ、申し込みがされるようになった。 <p>(2) 参加団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で情報発信をする意識が強まり、HP以外にもブログを開設する等、団体自らが情報発信に努めるようになった。 ・子育て世代にも周知を行い世代を超えた新たな団体のつながりの機運が高まった。 			
総事業費（円）	419,090 円	補助金額（円）	197,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>北区で活動する市民団体が、Web 上で情報共有することができる「Web 上の団体ひろば」を整備したことで、顔を合わすことなく一定の活動調整が可能となり、団体間の連携促進に寄与したものと思われる。また、市民団体が個別にホームページを開設したり、情報更新するための煩雑な事務の軽減にもつながっている。</p> <p>今後は、参加団体の拡大、団体間の連携強化及び本 Web ページの告知強化に努め、北区内の市民団体の情報発信・共有のための新たなツールとしての自主運営を期待する。</p>				